

MOTスペース

金・土・日曜、祝日開催
11:00-18:00

- ① 深川資料館通り商店街協同組合事務所 1F ④ 大島倉庫 ⑤ 江東区白河 2-4-2
② グランチェスター・ハウス ⑥ 旧酒房越路 ⑦ 江東区白河 2-4-2
③ 白河の倉庫 ⑧ 江東区白河 2-5-9 ⑨ 三好の旧製本所 ⑩ 江東区三好 2-15-3
⑪ 白河二丁目町会会館 ⑫ 江東区白河 2-3-8

MOTスポット

会場ごとに開催時間や定休日等異なります。事前にご確認ください。

ビルや寺院の壁面でのひがしちかの大型パナー展示や、地域に点在するカフェや店舗などでの鈴木のみもの小規模展示、図書館、その他の展示会場でのらもじ発見プロジェクトを展開します。

- ⑬ ささきビル(外壁) ⑭ 江東区清澄 3-4-16
⑮ 旭写真店 ⑯ 江東区三好 1-5-7
⑰ アライズ コーヒーエンタングル ⑱ 江東区清澄 3-1-3
⑲ 善徳寺(外壁) ⑳ 江東区三好 2-16-7

ひがしちか (Chika Higashi)

1981年長崎県生まれ。

《川の色 色の川》

これまでに2回開催されたMOTサテライトにおいて、本展を象徴するメインイメージとしてすっかり定着した感のあるひがしちかの作品。今回はメインイメージに加えて、さらに屋外での大規模な展示へと展開していきます。ビルや寺院の外壁に展示された、清澄白河の特色のひとつである「川」や、この地に緑のイメージを描き出した大型パナー作品が、風景の一部となって、まちの表情を生き生きと浮かび上がらせてます。



《ペーパーバレット》2018
参考図版

デニス・オッペンハイム (Dennis Oppenheim)

1938年生まれ・2011年没、アメリカ、ワシントン州出身。

『ビデオ作品集』より

コンセプチュアル・アートの黎明期を代表する作家のひとりであるデニス・オッペンハイム。そのビデオ作品は、パフォーマンスとして行われた自らの身体的行為を記録した映像で、形に残らない行為のプロセスそのものを作品化しています。東京都現代美術館収蔵のデニス・オッペンハイムのビデオ作品を、まちなかの日常空間で展示することで、新たな鑑賞体験の場を創出します。

*東京都現代美術館は、約5,000点の近代から現代に至る幅広いジャンルの及ぶ多彩な作品群を所蔵しています。

宮永愛子 (Aiko Miyanaga)

1974年京都府生まれ、神奈川県在住。

《Strata(清澄白河)》

かつて、紙を綴るという行為が営まれていた場所で、日常に流れる時間の中で積み重ねられてきたものに、かたちが与えられます。ガラス製の本に綴られているのは、日々の生活に深く関わってきた潮汐の移ろいであり、歳月を経て層を成した記憶の集積です。時を刻んで形を変えていく白いナフタリン製の作品や、着想の原点となったドローイングとともに、製本工場だった空間全体がインスタレーションへと転換されます。



《手紙》(部分)2013 写真:木島恵三
©MIYANAGA Aiko Courtesy Mizuma Art Gallery
参考図版

MAP



* 各拠点のプログラムや定休日等の情報は「MOTサテライト 2018秋」(10/20~11/18)期間に限りです。

案内所

もっと知りたい人はこちらへ

⑬ 江東区三好 3-8-5

MOT サテライトのめぐり方や会期中のイベント情報を詳しくご案内します。地域の人たちが発行する清澄白河の各種マップやパンフレットもそろえて、まち歩きを楽しむための情報をお届けします。ガイドスタッフによるトーク&まち歩きクルーズも毎週末(10月27日~)ここからスタートです!

道案内アプリ「YORIP」

http://www.dnp.co.jp/cio/yorip/event/mot_satellite/index.html

YORIP(ヨリップ)は、「MOTサテライト 2018秋」のおすすめコースや、あなたにとっておきの「よりみちスポット」をお知らせするアプリです。MOTスペースやMOTスポット、その土地ならではの魅力が詰まった「よりみちスポット」をめぐりながら、「MOTサテライト」とまち歩きを楽しみましょう!

《楽しみ方》スマートフォンやタブレット端末用アプリです。AppStore、GooglePlayからダウンロードします。アプリを起動し、サテライトの各会場に近づくと、道案内やスタンプラリーが楽しめます。

のらもじ発見プロジェクト MOTスペース各会場 MOTスポットd

下浜臨太郎(1983年東京生まれ)、西村斉輝(1984年兵庫生まれ)、若岡伸也(1982年石川生まれ)によるプロジェクト。

古い町並みや看板に残る個性的で味のある素敵な文字たちを「のらもじ」と名づけ、発見→分析→フォント化し、その魅力を再発見するプロジェクトです。清澄白河で採取されたフォントを使ったスタンプラリーを開催します。MOTスペース各会場でスタンプを集め、オリジナルグッズをGETしましょう! MOTスポットdでの展示もあわせてご覧ください。

*案内所で台紙を受け取り、完成したら案内所にお持ちください。

(グッズは先着順に配布、なくなり次第終了)



のらもじ発見プロジェクト 2013
写真:池田晴美 参考図版

東京大学 廣瀬・谷川・鳴海 研究室× DNP ARプロジェクト

東京大学 廣瀬・谷川・鳴海研究室と大日本印刷株式会社(DNP)による鑑賞行動支援プロジェクト。
(技術開発:東京大学 助教 吉田成樹、東京大学 大橋、沼田俊之、矢田浩章)

《清澄白河 思い出のぞき窓》

清澄白河の音楽スタジオ「スズキスタジオ1」のオーナー・鈴木義智氏と、東京大学のバーチャルリアリティ研究者が連携し、江東区の今と昭和の風景写真がA R(拡張現実感)で溶け合う「思い出のぞき窓」を展示します。1964年のオリンピック聖火リレーのようすや、当時の風景にスポットをあてます。



《思い出のぞき窓・清澄白河》
1968/2017 展示風景

東京藝術大学芸術情報センター 清澄白河プロジェクト

東京藝術大学上野キャンパスに位置する学内共同利用施設。全学を対象に、情報メディアやファブリケーション機材を用いた講義・ワークショップや、情報技術を用いた情報発信サポート等を行う。

本プロジェクトでは、「うごきだす物語」をテーマに、「メディアアート・プログラミング I/II」履修学生がコンピュータ言語 processingで制作した短編映像作品集と、担当教員・田所淳(1972年生まれ、クリエイティブコダー)による映像作品を展示します。



「MOTサテライト 2017秋」
展示風景 撮影:白井晴幸

錯視ブロックワークショップグループ

大谷 智子(東京藝術大学芸術情報センター 助教)と丸谷 和史(NTT コミュニケーション科学基礎研究所)らを中心とした、多分野の研究者やデザイナーらのグループ。錯覚世界を楽しむための研究活動を展開する。

錯視ブロックとは、表面の模様が多様な「錯視」を生じさせ、だまし絵のような印象を与える、不思議な立体を作るブロックです。清澄白河・美術館周辺の大きな地図の上に、親子やワークショップ参加者が「錯視ブロック」を使って作った未来の建物や思い出の建物を展示します。また、会期中に幅広い層が楽しく学べる体験ワークショップを開催します。



宮永愛子 (Aiko Miyanaga)

1974年京都府生まれ、神奈川県在住。

《Strata(清澄白河)》

かつて、紙を綴るという行為が営まれていた場所で、日常に流れる時間の中で積み重ねられてきたものに、かたちが与えられます。ガラス製の本に綴られているのは、日々の生活に深く関わってきた潮汐の移ろいであり、歳月を経て層を成した記憶の集積です。時を刻んで形を変えていく白いナフタリン製の作品や、着想の原点となったドローイングとともに、製本工場だった空間全体がインスタレーションへと転換されます。



《手紙》(部分)2013 写真:木島恵三
©MIYANAGA Aiko Courtesy Mizuma Art Gallery
参考図版

鈴木のみ (Nozomi Suzuki)

1983年埼玉県生まれ、埼玉県在住。

《The Light of Other Days : 白河二丁目町会会館》

日常に在るさまざまな穴。その穴越しに見える清澄白河の風景を印刷紙や日用品に定着させた作品を、倉庫や店舗に展示します。日常に溢れている光の潜像が穴によって束ねられ、主観を超えた穴の眼差しが可視化されます。白河二丁目町会会館では、ガラス戸や窓に、かつてそこから見えていた、あるいは現在見えている風景を定着させ、その場所から眺めてきたまちの記憶を今に留め置きます。建物と一体化した作品を屋外から鑑賞していただきます。



《Other Days, Other Eyes : 柿の木荘2階東の窓》2016-2017
写真:木島恵三 Courtesy rin art association 参考図版

ジョン・ヨンドウ (Yeondoo Jung)

1969年韓国、晋州生まれ、ソウル在住。

《古典と新作》

清澄白河に暮らす人々とさまざまな交流から生まれた映像作品によって、世代を超えて刻み込まれてきた記憶が現在へと繋がり、動き始めます。戦中に子供時代を過ごし、長年この地の移り変わりを見守ってきた住民の言葉や、新たなエネルギーに溢れる今のまちを象徴するような子どもたちの生き生きとした姿、それらを題材とする白河在住のベテラン落語家による落語。各々の映像が交錯し、シンクロしながら語りかけてきます。



《古典と新作》2018

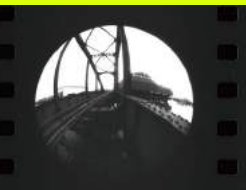
志村博 (Hiroshi Shimura)

1949年生まれ。東京深川育ち。

2011年に清澄白河にアート空間「グランチェスター・ハウス」を開館。

《映像時空の旅2018》

「映像時空の旅」をテーマに、1960年代と現在とを往来しながら写しとめた清澄白河と英国の風景や、魚眼撮影を含む作品世界を展開します。映像の原点の一つである映像装置「カメラオブスクラ」や、17世紀以降さまざまな改良され隆盛を見た幻灯機が、今日のプロジェクション文化につながることを再認識し、タイムトラベルの楽しさを想起させる展示空間を創出します。



《江東区 砂町運河 鉄道橋 付近》
1968 参考図版

参加作家によるアーティストトーク

志村博
ゲスト・中谷日出(NHK解説委員)

10月21日(日) 14:00-16:00

会場:江東区立深川図書館 3階ホール(MOTスポットd)

定員:30名(事前予約不要、先着順)

参加方法:当日、直接3階会場の受付にお越しください。

鈴木のぞみ
ゲスト・丹羽晴美(東京都写真美術館学芸員)

10月28日(日) 16:00-17:30

会場:白河二丁目町会会館(MOTスペースG)

定員:20名(事前予約不要、先着順)

参加方法:当日、直接会場にお越しください。

ひがしちか×成井昭人(鉄割アルバトロケット主宰)

11月10日(土) 16:00-17:30

会場:リトルトーキョー(江東区三好1-7-14)

定員:30名(事前予約不要、先着順)

参加方法:当日、直接会場にお越しください。

宮永愛子
ゲスト・小野正嗣(作家・立教大学教授)

11月17日(土) 18:00-19:30

会場:THE FLEMING HOUSE(江東区三好2-6-10)

定員:30名(事前予約不要、先着順)

参加方法:当日、直接会場にお越しください。

ワークショップ

**のらもじ発見プロジェクト
トーク&ワークショップ**

清澄白河で採取されたフォントを使って、参加者がフォントを作ってみるワークショップです。アーティストと一緒に、味のあるフォント作りを体験してみましょう。

10月27日(土) 13:00-16:00

場所:江東区立深川図書館 3階ホール(MOTスポットd)

定員:20名(整理券制)、見学のみ可能

参加方法:当日11時から、案内所にて整理券を配布します。

**錯視ブロックワークショップグループ
「サッカク・ブロック・ワークショップ」**

ブロックを組み立てながら、だまし絵や知覚のトリックで知られる「錯視」の立体を作り、撮影を楽しむワークショップです。

11月3日(土・祝) 13:00-17:00

会場:江東区立深川図書館 3階ホール(MOTスポットd)

定員:10組(各回とも先着順)、見学のみ可能

参加方法:当日、直接会場にお越しください。

鈴木のぞみ ワークショップ
「Monologue of the Light / 日常にある穴で写真を撮ってみよう」

参加者が作家とともにまちの中にある穴を探し、その穴から見えている光景を印画紙に焼き付けます。

11月11日(日) 10:00-16:00

会場:白河二丁目町会会館(MOTスペースG)

定員:10組 小学生以上(小学生は保護者同伴、事前申込制)

参加方法:東京都現代美術館のウェブサイトをご確認ください。

クロストーク

ジョン・ヨンドウ 上映&トーク

ゲスト・分部登志弘(深川資料館通り商店街協同組合理事長)、三遊亭歌司(落語家)

上映会のための特別ヴァージョンの作品を上映し、まちの人々と関わりながら進めてきた出品作品の制作プロセスを、ゲストとのトークも交えて紹介します。

10月26日(金) 19:00-20:30

会場:江東区深川江戸資料館(江東区白河1-3-28)

定員:100名(事前予約不要、先着順)

参加方法:当日、直接会場にお越しください。

トーク 「清澄白河からまちを考える」

清澄白河をベースに、アートプロジェクトを手がけたり、拠点を作ったり、カスタマイズツアーを主催したりと、独自の「まち」との関わり方を提案してきた人たちが、「MOTサテライト 2017春」担当学芸員がナビゲートします。

11月16日(金) 19:00-20:30

出演:伊藤薫(Treck Treck代表)、後藤寿和、池田史子(株式会社ギフト・ラボ)、林曉南(inVisible代表)

会場:gift_lab GARAGE(江東区白河1-3-13 清洲寮102)

定員:30名(事前予約不要、先着順)

参加方法:当日、直接会場にお越しください。

第57回MOT美術館講座

**落語&トーク
「アート×落語—交わることで生まれたもの」**

ジョン・ヨンドウの本展映像作品に登場する落語家・三遊亭歌司師匠(白河在住)による落語上演後、作品制作のエピソードやまちの魅力についての対談を行います。

10月27日(土) 15:30-17:00

出演:ジョン・ヨンドウ(参加作家)、三遊亭歌司(落語家)

会場:THE FLEMING HOUSE(江東区三好2-6-10)

定員:40名(事前予約不要、整理券制)

参加方法:当日13時から、案内所にて整理券を配布します。

**レクチャー「MOTコレクション—
保存しながら、見せるということ」**

東京都現代美術館収蔵作品担当学芸員がMOTサテライトで展示されている当館収蔵のデニス・オッペンハウムの作品や、MOTコレクション(東京都現代美術館収蔵作品)の特色、作品を大切に保存しながら見せること等についてお話します。

11月10日(土) 13:30-15:00

会場:リトルトーキョー(江東区三好1-7-14)

定員:30名(事前予約不要、先着順)*手話通訳あり

参加方法:当日、直接会場にお越しください。

ガイドツアー

**トーク&まち歩きクルーズ
「ガイドとめぐるMOTサテライト」**

当館のガイドスタッフが参加者(1〜5名程度)と一緒に清澄白河エリアを歩きながら作品の見どころやまちの魅力をご案内するツアーです。

10月27日(土)以降の土、日(全8回)

ツアー開始時間 14:30〜/15:30〜

所要時間:45分〜1時間程度

参加方法:事前予約不要、開始時間に案内所へお集まりください。

ARまちあるきツアー@清澄白河

ARを使って現在と過去の風景をタブレット端末に映し出し、ガイドの解説を聞きながら、松尾芭蕉ゆかりの地を散歩します。

11月4日(日) 10:00-12:00(予定)

定員:10組 小学生以上(小学生は保護者同伴、事前申込制)

参加方法:内容詳細とあわせて、東京都現代美術館のウェブサイトをご確認ください。

地域パートナー

- 「MOTサテライト」の開催期間中に、地域のクリエイティブな拠点でも独自の魅力的なプログラムを展開します。各拠点の場所は、中面の地図をご覧ください。
- ① リトルトーキョー
いろんな生き方働き方に出会う場所。
●江東区三好1-7-14
○(木・日)12:00-15:00 (水・日)19:00-26:00
「しごとバー」開催時間 20:00-22:00
●月・火
- ② 無人島プロダクション
「八木良太展 MUSIC FOR LAZY SUSAN」
(9月22日〜10月27日)
●江東区三好2-12-6 1F ☎03-6458-8225
○(火・金)12:00-20:00 (土)11:00-19:00
(日)11:00-18:00
●月
- ③ Satoko Oe Contemporary
展示の詳細については、ウェブサイトでご確認ください。
●江東区白河3-18-8 第二杉田ビル1階 ☎03-5809-9517
○12:00-19:00 ⑥不定休
<http://www.satokoee.com/>
- ④ アルマス・ギャラリー
中村太一 個展「an odd number」(10月27日〜12月15日)
●江東区清澄2-4-7 ☎03-3642-5660
○12:00-19:00 ⑧月・木
- ⑤ EARTH+GALLERY
展示、イベントの詳細、営業時間はウェブサイトでご確認ください。
●江東区木場3-18-17 ☎03-3630-1655
●不定休
<http://earth-plus.com>
- ⑥ アンドーギャラリー
中沢研展(9月11日〜11月24日)
●東京都江東区平野3-3-6 ☎03-5620-2165
○11:00-19:00 ⑧日・月・祝
- ⑦ Babaghuri
「ヨーガンレールとババグーリのメンズウェア」(11月1日〜)
●江東区清澄3-1-7 ヨーガンレール本社1階
○11:00-19:00 ☎03-3820-8825
●不定休
- ⑧ WILD SILK MUSEUM
野蚕(絹糸昆虫)とそのシルクについて紹介するミュージアム。
●江東区平野1-5-5-101
○13:00-18:00 ⑧日・水
養蚕作業の都合上、開館日時変更の可能性あります。
あらかじめウェブサイトに記載のスケジュールをご確認ください。
<http://www.wildsilk.jp>
- ⑨ 江東区深川江戸資料館
常設展
●江東区白河1-3-28 ☎03-3630-8625
○9:30-17:00(入館は16:30まで)
●第2・4月曜日(祝日の場合は開館)
- ⑩ GLASS-LAB
●江東区平野1-13-11 ☎03-6318-9407
○10:00-16:00
●祝日を除く月・金
土日は予約制で工場見学やガラス加工体験あり
- ⑪ リカシツ
理化学耐熱ガラスを使ったリカロマ蒸留会、アクアリウム、苔のワークショップ、手作り石鹸。
(土日は不定期開催、詳細はウェブサイトをご確認ください。)
●江東区平野1-9-7 深田荘102 ☎03-3641-8891
○(平日)13:30-18:00 (土・日・祝)13:00-18:00
●火、水、11月8日
- ⑫ 江東区芭蕉記念館
30年度前期企画展「江戸の名所と俳諧」(開催中〜10月21日)
30年度特別展「芭蕉の旅、俳人の旅」(10月25日〜12月9日)
●江東区常盤1-6-3 ☎03-3631-1448
○9:30-17:00(入館は16:30まで)
●第2・4月曜日(祝日の場合は翌日)
展示替え期間(10月22日〜10月24日)
- ⑬ どうぶつしょうぎcafe いっぶく
深川の文化が集まるコミュニティスペース。
「どうぶつしょうぎ」の教室などを開催。
●江東区白河3-2-15 ☎03-3641-3477
○12:00-18:00(木・日カフェ営業、火・水は将棋教室) ⑧月
- ⑭ POTPURRI
「sottight / かたすみの物語」(10月20日〜11月18日)
●江東区白河2-1-2 ☎03-5875-8935
○11:00-19:00 ⑧月
- ⑮ gift_lab GARAGEほか
gift_+AS「ラジオ往来往来」
「MOTサテライト 2017春」で誕生した、清澄白河を音で旅する架空のローカルラジオ「ラジオ往来往来」をアップデート。
ウェブサイト[radio.oraiorai.org]や、まちの各所でもお楽しみいただけます。また、コンテンツに関連したイベントも行います。
「ラジオ往来往来 清澄白河サウンドコラージュ」
11月3日14:00-18:00 会場:AS House※
ワークショップ10:00-12:00、展示13:00-※会場への行き方、ワークショップの参加方法等詳細は、ラジオ往来往來のウェブサイトでご確認ください。
11月4日〜11月12日 会場:gift_lab GARAGE
展示のみ 協力:WHLIGHT
●江東区白河1-3-13 清洲寮102 ☎03-3630-1201
○12:00-19:00 ⑧火・水(臨時休業あり)
- ⑯ KANA KAWANISHI GALLERY
森ナナ個展「Nucleus」(10月6日〜11月10日)
●江東区白河4-7-6 ☎03-5843-9128
○(火・金)13:00-20:00 (土)12:00-19:00 ⑧日・月・祝
- ⑰ LYURO GALLERY
(LYURO 東京清澄-THE SHARE HOTELS)
常設展
詳細は当ホテルウェブサイト、イベントページをご確認ください。
●江東区清澄1-1-7 ☎03-6458-5540
○7:00-24:00 ⑧なし
<https://www.thesharehotels.com/lyuro/>
- ⑱ TAP Gallery
中野翔大朗写真展「温泉」(10月16日〜10月28日)
Parrhesia #013[福居伸宏 個展企画] (10月30日〜11月11日)
鈴木隆朗写真展 (11月13日〜11月25日)
●江東区三好3-2-8 ☎03-3643-6885
○12:00-19:00 ⑧月
- ⑲ L&HARMONY清澄白河本店
セレクトショップに併設したギャラリースペース。
展示の詳細はウェブサイトでご確認ください。
●江東区平野2-6-1 ☎03-5809-9324
○11:00-19:00 ⑧不定休
<http://landharmony.com>
- ⑳ Coci la elle(コシラエル本店)
「MOTサテライト 2018秋」のメインヴィジュアルや、出品作のバナーの原画を展示します。
●江東区三好2-3-2 ☎03-6325-4667
○11:00-18:00 ⑧不定休

清澄白河ガイド(シラベル)
ウェブサイト・SNS・アプリ等で、清澄白河とその周辺のおすすめスポットなどを住人の方々に向けて発信しています。
<http://kiyosumiine.com>

MOT サテライト Satellite

2018秋FALL

うごきだす物語
- To become a narrative

休館中の東京都現代美術館へ、アーティストたちと清澄白河のまちにお邪魔します。

休館中の東京都現代美術館へ、アーティストたちと清澄白河のまちにお邪魔します。

主催 | 東京都、東京都現代美術館・アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)
後援 | 江東区、駐日韓国大使館 韓国文化院
特別協力 | 深川資料館通り商店街協同組合、東京藝術大学芸術情報センター、東京大学 廣瀬・谷川・鳴海研究室
協賛 | 大日本印刷株式会社
協力 | デル株式会社、錯視ブロックワークショップグループ、一般社団法人 江東区観光協会、法政大学大学院 地域創造システム研究所、江東区文化観光ガイドの会、江東区立深川図書館、江東区深川江戸資料館、江東区立元加賀小学校、元加賀小学校和太鼓クラブ、旭写真店、白河二丁目町会、江東区芭蕉記念館、グランヂエスター・ハウス、龍徳山 光厳教寺 雲光院、株式会社ささき、THE FLEMING HOUSE、アライズ コーヒー・エントangled、サッカル、ティーポンド、株式会社清川建具、善徳寺、一般社団法人 まちふみ みらい塾、株式会社キョーダイ社

第21回 文化庁メディア芸術祭協賛事業

03-5777-8600 (ハローダイヤル / Hello Dial)
年中無休 8:00-22:00 / 7 days a week between 8:00-22:00
03-5245-4111 (代表 / General Information)
平日 9:30-18:00 / Weekdays between 9:30-18:00

観覧料 無料

金・土・日、祝の11:00-18:00 会場 | 清澄白河エリアの各所

www.mot-art-museum.jp

Artwork: Chika Higashi(Coci la elle)

「MOT サテライト」は、改修休館中に東京都現代美術館の活動を館外に拡張し、まちなかでアーティストの作品展示やプロジェクトを実施することで、「まち=地域」の魅力を再発見しようとする試みです。江戸時代からの下町情緒や水辺の風景などの魅力あふれるまちの特色に加えて、近年ではカフェやギャラリーも賑わいを見せるなど、新旧の文化が交わる清澄白河。1995年に開館以来、東京都現代美術館はこの地で活動を続け、国内外の現代美術を発信してきました。第3回となる今回は、「うごきだす物語」というテーマのもと、2019年3月下旬に迫った美術館のリニューアル・オープンへの気運を高め、これまでに培ってきた地域や関係各所との連携をさらに深めていくことを目指します。まちをめぐり、作品と触れ合いながら、本展をお楽しみください。(詳細は中面をご覧ください。)

関連プログラム

会期中にさまざまなプログラムを予定しています。ぜひお気軽にご参加ください。

鉄割アルバトロケット

1997年、東京は根津の宮永会館で結成された、寸劇、音楽、踊りなどを織り込んだ演目、ダム崩壊のごとくダダダッと行うパフォーマンス集団。老若男女に熱狂的な人気を博し、その舞台は寄席や見世物小屋のような風情を漂わせ、観客をナンセンスと混乱の坩堝へと引き込んでいきます。

演劇公演 『鉄割アルバトロケット』 観覧料無料

“寄り合いのおっさんが集まって、なにをしようか悩んだ挙句、わけがわからなくなって、まぬけで激しい宴会芸になってしまった”というような雰囲気を感じ出しながら、本展に向けた新作演目も加えての公演を行います。

日時:11月3日(土・祝)、4日(日)
①14:00-15:15
②19:00-20:15
会場:THE FLEMING HOUSE [江東区三好2-6-10]
*事前申し込み制、先着順。詳細は美術館ウェブサイトでご確認ください。

参考図版 写真:沼田学

心臓ピクニック・日本のWellbeingプロジェクト

国際的に活動する研究者・アーティストを含む多彩なメンバーによるトーク&ワークショップを行うプロジェクト(※)。日本の心臓Wellbeing(ウェルビーイング=心身のよりよい状態)を考え、実践する試みです。

心臓ピクニック:渡邊淳司(NTT コミュニケーション科学基礎研究所)、川口ゆい(ダンサー、コレオグラファー)、坂倉杏介(東京都大学)、安藤英由樹(大阪大学)
日本のWellbeingプロジェクト:安藤英由樹(大阪大学)、坂倉杏介(東京都大学)、渡邊 淳司(NTT コミュニケーション科学基礎研究所)、ドミニク・チェン(早稲田大学)、青山一真(東京大学)ほか
※JST社会技術研究開発センター(RESTEC)人と情報のエコシステム研究開発領域「日本のWellbeingを促進する情報技術のためのガイドラインの策定と普及」研究プロジェクトのアウトリーチ活動の一環として開催。

トークイベント& ワークショップ 「心臓ピクニック@清澄白河」

心の豊かさのために芸術やテクノロジーにできることは何か、多角的な視点からWellbeingについて考えるトークと、まちの人々/まちを訪れた人々が、地域のお寺を会場に、心臓の動きを、手のひらの上の振動として感じられる装置を用いて、自分/他者の「生命」を実感するワークショップを開催します。

日時:11月17日(土) 14:00-(体験ワークショップ15:00〜)17:00終了予定
会場:龍徳山 光厳教寺 雲光院[江東区三好2-17-14]
出演:安藤英由樹(大阪大学)、渡邊淳司(NTT コミュニケーション科学基礎研究所)、ドミニク・チェン(早稲田大学)ほか
定員:トーク50名(先着順)/体験ワークショップ25名(整理券制)、見学のみ可能
参加方法:体験ワークショップのみ、当日11時から案内所にて整理券を配布します。

参考図版

お客様へ ご案内とお願い

- 会場は一般の住宅街にございますので、周辺環境へのご配慮をお願いいたします。
- 建物の外から鑑賞する作品もございます。車や通行人に留意してご鑑賞ください。
- 展示会場にはゴミ箱がございません。ゴミはお持ち帰りくださいますようお願いいたします。
- 展示会場には駐車場や駐輪場がございませんので、公共の交通機関をご利用ください。
- 会場及び周辺で撮影される際は、まわりのお客様や近隣・一般の方、住宅等の映りこみにご注意ください。一部撮影できない会場や作品がございます。また、フラッシュや三脚・自撮り棒の使用や動画での撮影はお控えください。
- MOTスペースにはお手洗いがございませんので、公衆トイレ・公共の洗面所等をご使用ください。
- MOTスペースBにエレベーターは設置されておりません。あらかじめご了承ください。
- 本GUIDE MAPに掲載している情報は、都合により変更になる場合がございます。

GUIDE MAP 制作:東京都現代美術館